

第 6 8 回 中小企業景況調査

(令和 3 年 1 月～令和 3 年 3 月)

《 調査結果の要約 》

全業種業況D I は▲18.1%（前期比 21.7 ポイント増）と大幅な回復傾向にある。

業種別でも、製造業、建設業、小売業（最寄品）、小売業（買回品）、飲食業、サービス業の全てで増加傾向となっており、回復傾向を示している。

業種別にみると、下記の通りである。

3 ヶ月前と比べて好転 ↑ : 製造業、建設業、小売業（最寄品）、小売業（買回品）、飲食業、サービス業

1. 全業種業況判断D I は、▲18.1%（前期比 21.7 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3 ヶ月先も、▲1.0%と更に回復の見通しである。
2. 設備投資件数は 17 件（3 ヶ月前と比べて▲4 件）となっており、その内訳は OA 機器 2 件、機械設備 7 件、車両運搬具 4 件、建物等 3 件、その他 1 件となっている。
3. 経営上の問題点（延べ問題点件数に対する比率）は、①需要の停滞 33%（61 社）が最も多く、②利用者ニーズの変化 14%（25 社）、③人件費以外の経費の増加 14%（25 社）、④単価の低下・上昇難 11%（20 社）、⑤人件費の増加 8%（15 社）が続いている。

＜国内および神奈川県の中小企業の景況トピックス＞

・中小企業の業況判断D I は、3 期ぶりに低下した。

- 1、2020 年 1～3 月期の全産業の業況判断D I は、▲29.5（前期差 3.4 ポイント減）となり、3 期ぶりに低下した。
- 2、製造業の業況判断D I は、▲25.0（前期差 4.2 ポイント増）となり、3 期連続して上昇した。
業種別に見ると鉄鋼・非鉄金属、機械器具、金属製品など 12 業種で上昇し食料品、木材・木製品の 2 業種で低下した。コロナによる需要落込みの反動で 1～3 月は近年にない受注が見込まれた。
- 3、非製造業の業況判断D I は、▲31.2（前期差 5.8 ポイント減）となり、3 期ぶりに低下した。
産業別に見ると、建設業で上昇しサービス業、卸売業、小売業で低下した。ワクチン接種が始まり、GoTo 事業再開など明るい見通しもあるが、需要環境の変化に不安要素も感じられる。

・神奈川県中小企業の総合業況D I は、前期比 3.7 ポイント上昇の▲50.6 となった。経営状況では、売上D I は前期比 10.8 ポイント低下の▲45.9、また、採算D I は同 7.6 ポイント低下の▲43.3 となった。今後の業況D I を見ると、3 ヶ月後は現在比 5.2 ポイント低下の▲55.8、半年後は同 2.7 ポイント低下の▲53.3 を見込んでいる。

※ 国内は独立行政法人中小企業基盤整備機構、神奈川県は公益財団法人神奈川産業振興センターの調査報告書から抜粋。

《 調査概要 》

1. 調査時点：令和3年4月現在
2. 調査件数：鎌倉市内の中小企業、特に小規模企業（製造業・建設業・小売業（最寄品）・小売業（買回品）・飲食業・サービス業）の中から151社を抽出しました。

	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業	合 計
			最寄品	買回品			
調査件数	16	14	22	29	37	33	151
回答数	11	11	15	21	24	23	105
回答率	68.8%	78.6%	68.2%	72.4%	64.9%	69.7%	69.5%

3. 調査方法：郵送によるアンケート方式（一部経営指導員による聞き取り）

4. 調査項目：

（1）D I の状況について

① 自社の状況 ② 売上額 ③ 資金繰り ④ 採算 ⑤ 従業員数

（2）設備投資について

（3）経営上の問題について

5. 調査データについて

（1）D I ：Diffusion Index（ディフュージョンインデックス・景気動向指数）の略

各調査項目について、「増加」「好転」したとする企業割合から「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた数値で、企業の景況感の判断に使用する指数。

（2）データは当該期間（四半期ごと）と、その前年同期および向こう3ヵ月の見通しを対比したものです。

・四半期：1年の4分の1、すなわち「3ヵ月間」

・前期比：3ヵ月前との比較

・前年同期比：1年前との比較

< D I 計算例 >

「やや増加」「やや好転」50%、「変わらず」20%、「やや悪い」「やや減少」30%の場合、次の様な計算となります。

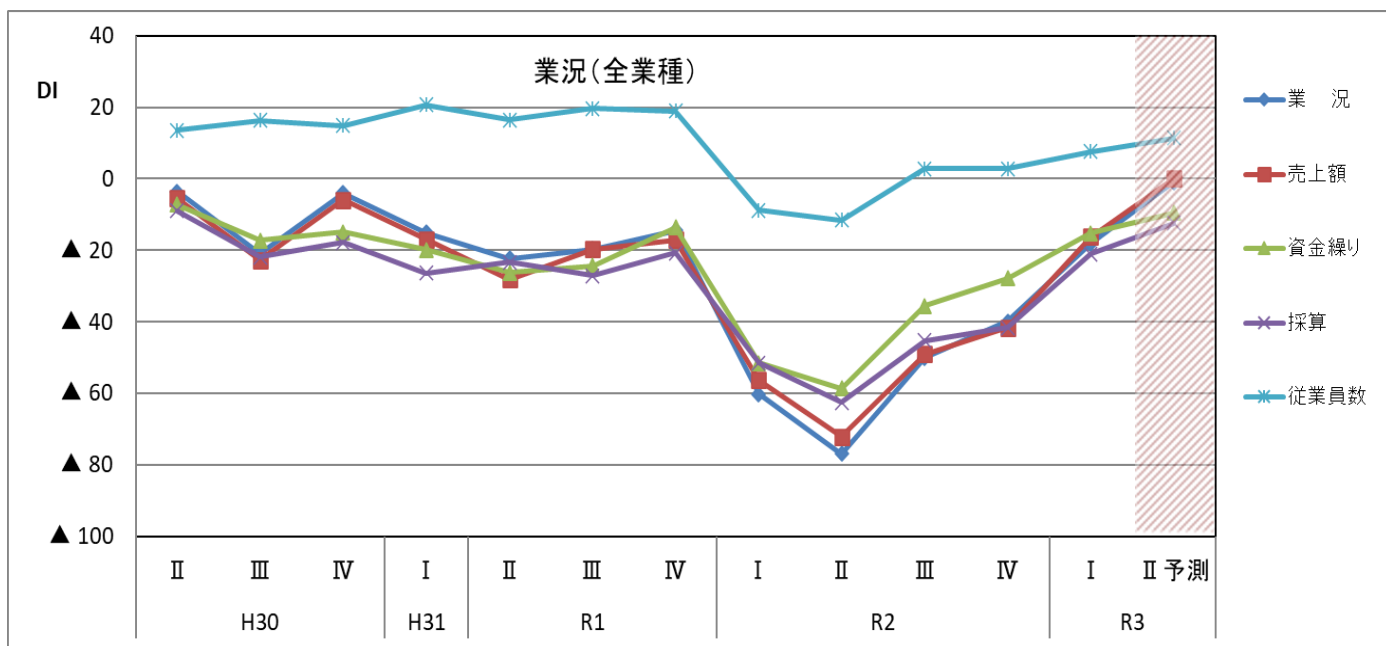
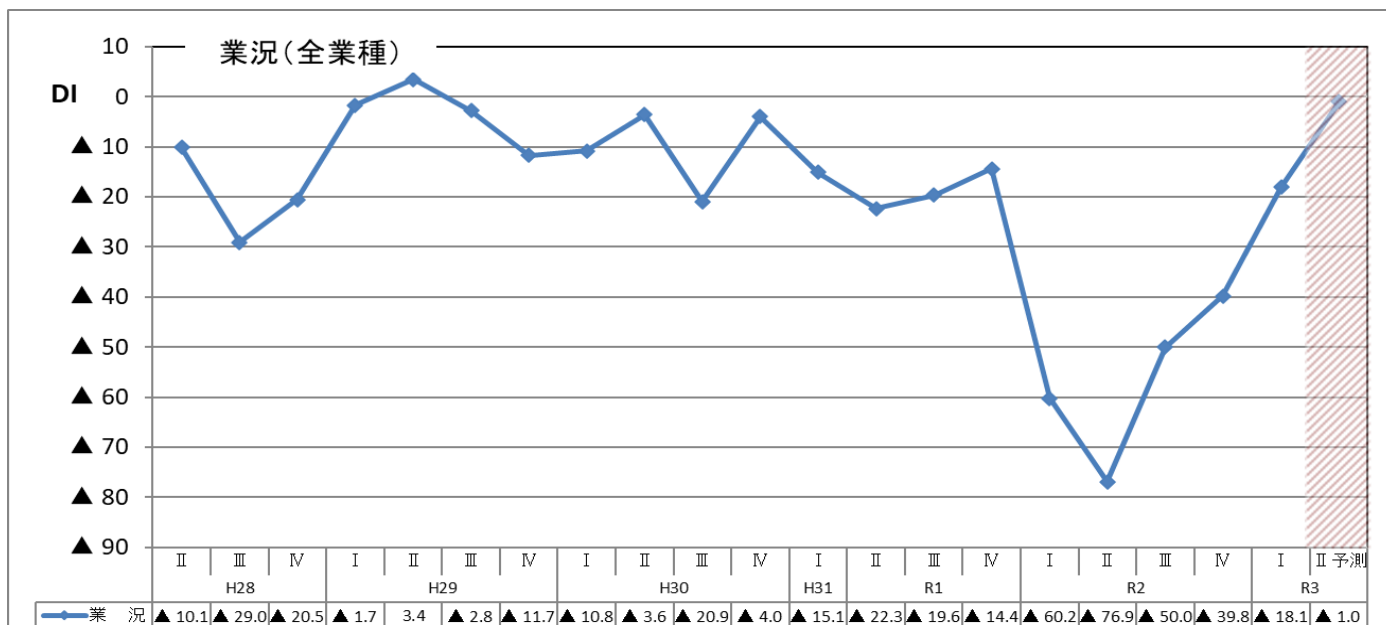
$$\begin{aligned} \text{D I} &= +50 - 30 \\ &= +20 \end{aligned}$$

《 調査結果 》

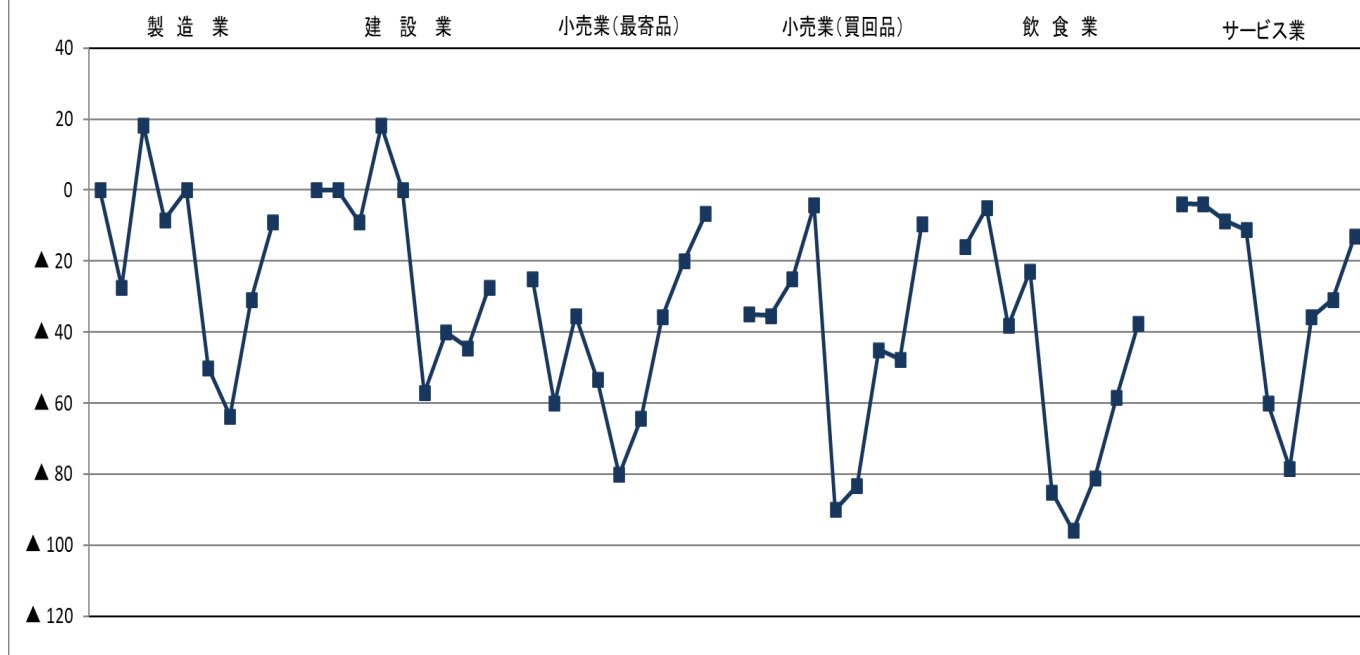
I. 全業種

□業況D I

- ・全業種の業況判断D Iは、▲18.1%（前期比 21.7 ポイント増）と大幅な回復傾向が見られるが、3ヶ月前も、▲1.0%と更に回復の見通しである。
 - ・売上D Iは、▲16.2%（前期比 25.5 ポイント増）と大幅な回復傾向が見られるが、3ヶ月前も、±0.0%と更に回復の見通しである。
 - ・資金繰りD Iは、▲15.2%（前期比 12.6 ポイント増）と大幅な回復傾向が見られるが、3ヶ月前も、▲9.5%とやや回復の見通しである。
 - ・採算D Iは、▲21.0%（前期比 20.7 ポイント増）と大幅な回復傾向が見られるが、3ヵ月前も、▲12.4%とやや回復の見通しである。
 - ・従業員数D Iは、+7.6%（前期比 4.8 ポイント増）と人手不足が進んでいるが、3ヶ月前は、+11.4%と更に人手不足が進む見通しである。
- ・業種別の業況判断D Iは、製造業、建設業、小売業（最寄品）、小売業（買回品）、飲食業、サービス業の全てで増加傾向となっており、回復傾向を示している。



業種別 業況判断DIの推移(H31年 1-3 月期～R3年 1-3 月期)



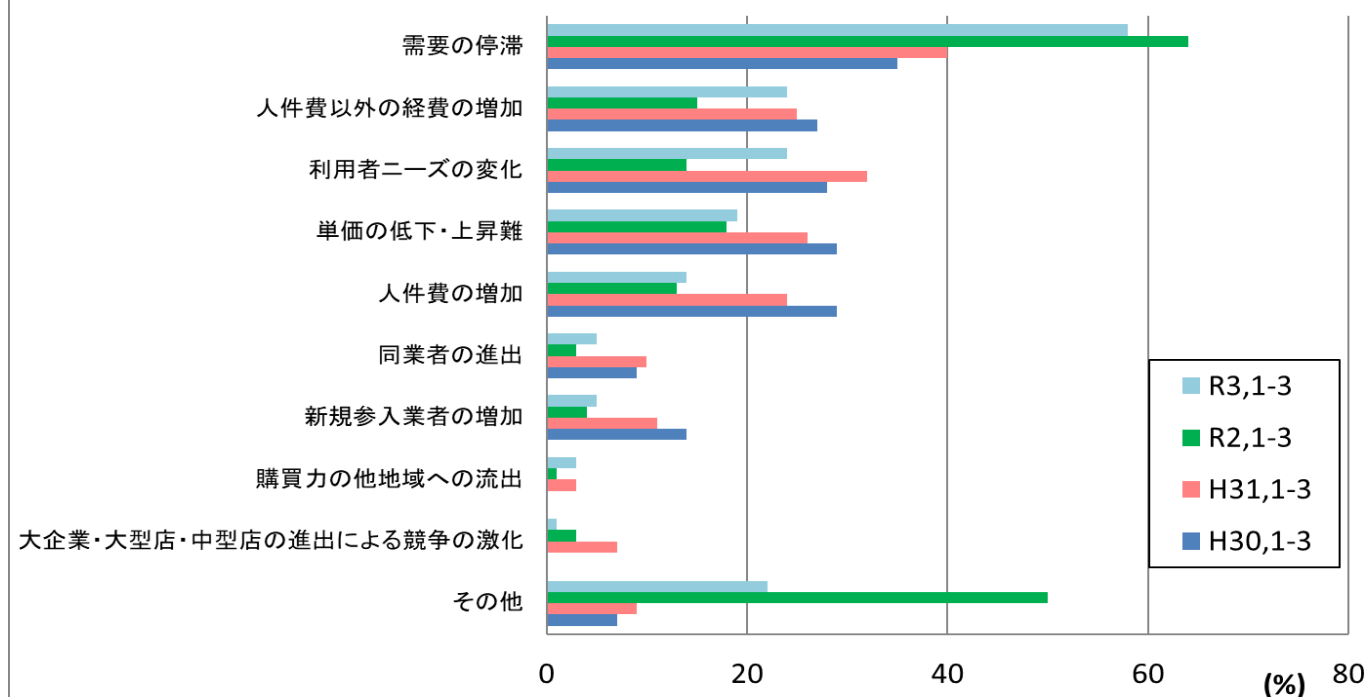
□設備投資の動向

- ・投資件数は 17 件（3 カ月前と比べて▲4 件）となっており、その内訳は OA 機器 2 件、機械設備 7 件、車両運搬具 4 件、建物等 3 件、その他 1 件となっている。

□経営上の問題点（延べ問題点件数に対する比率）

- ・経営上の問題点は、①需要の停滞 33%（61 社）が最も多く、②利用者ニーズの変化 14%（25 社）、②人件費以外の経費の増加 14%（25 社）、④単価の低下・上昇難 11%（20 社）、⑤人件費の増加 8%（15 社）が続いている。

経営上の問題点（回答社数に対する比率）

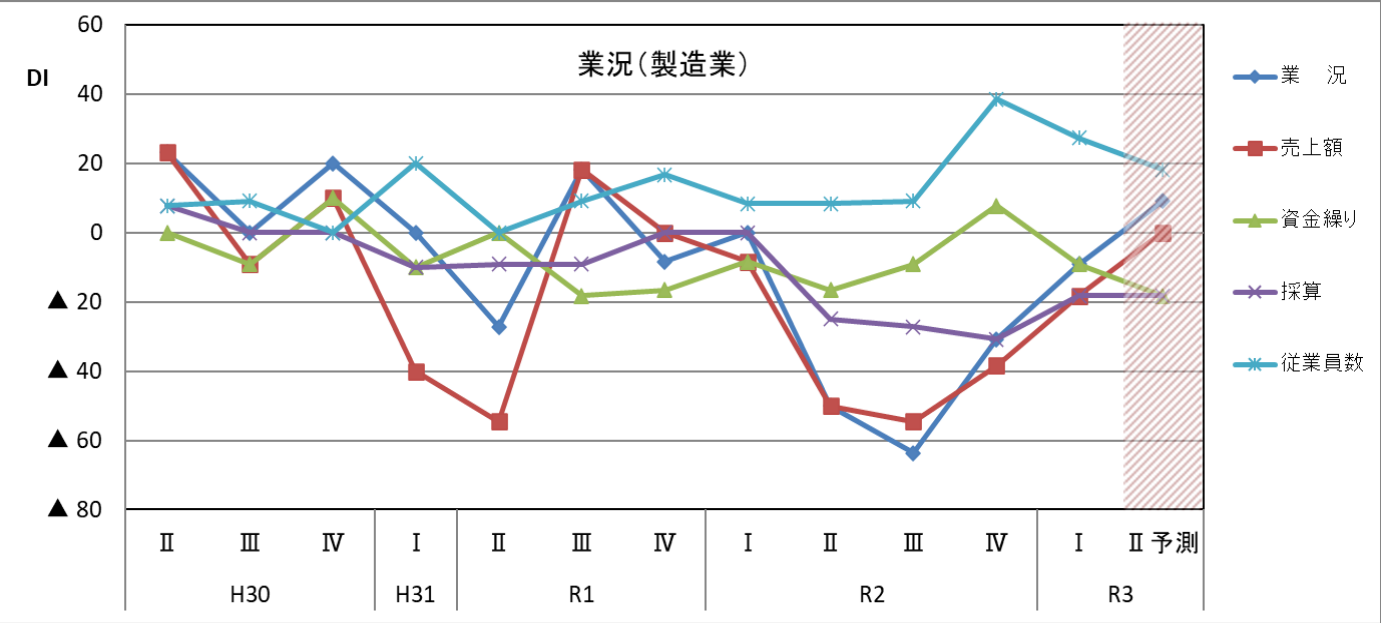


Ⅱ. 業種

1、製造業

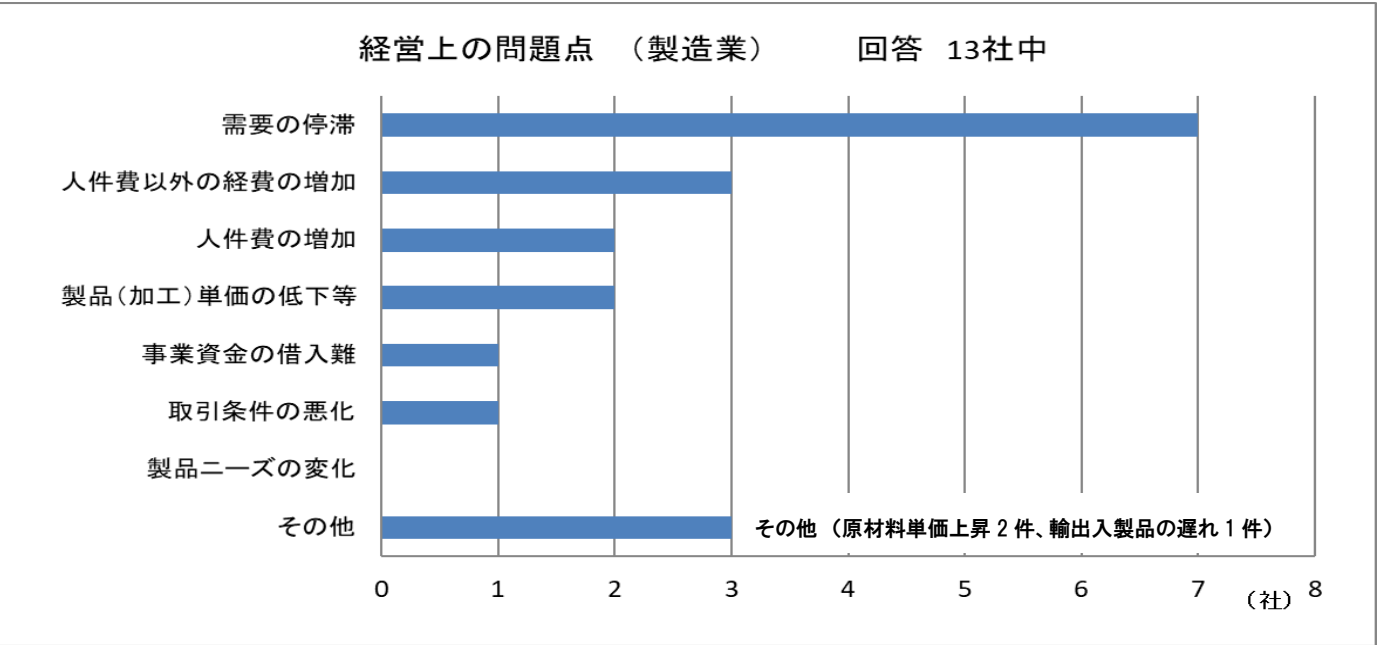
□業況D I

- ・業況判断D Iは、▲9.1%（前期比 21.7 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが3ヶ月先も、+9.1%と更に回復の見通しである。
- ・売上D Iは、▲18.2%（前期比 20.3 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先も、±0.0%と更に回復の見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲9.1%（前期比 16.8 ポイント減）と大幅な低下傾向にあるが、3ヶ月先も、▲18.2%と低下の見通しである。
- ・採算D Iは、▲18.2%（前期比 12.6 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲18.2%と横ばいの見通しである。
- ・従業員数D Iは、+27.3%（前期比 11.2 ポイント減）で人手不足緩和の兆しが見えるが、3ヶ月先も、+18.2%と更に人手不足緩和の見通しである。



□設備投資の動向 機械設備 3 件、車両運搬具 1 件となっている。

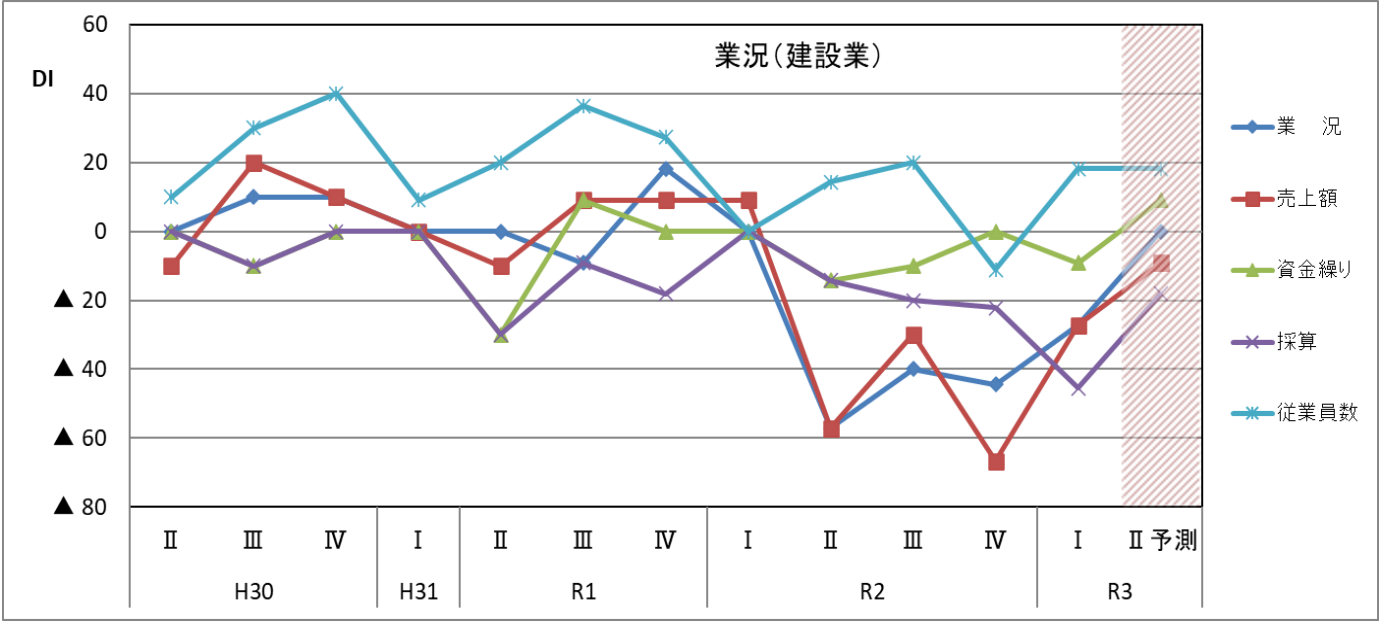
□経営上の問題点 (延べ問題点件数)



2、建設業

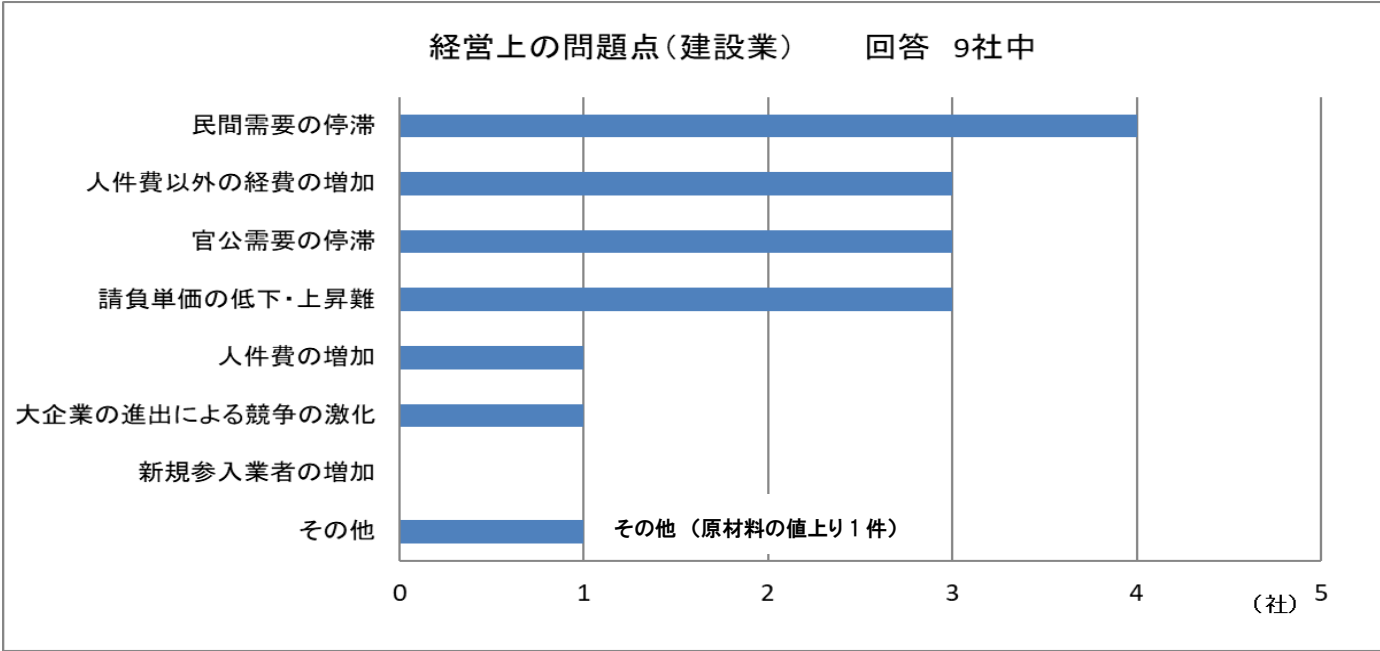
□業況D I

- ・景況判断D Iは、▲27.3%（前期比 17.1 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先も、±0.0%と更に回復の見通しである。
- ・売上D Iは、▲27.3%（前期比 39.4 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先も、▲9.1%と更に回復の見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲9.1%（前期比 9.1 ポイント減）と低下傾向にあるが、3ヶ月先は、+9.1%と大幅な回復の見通しである。
- ・採算D Iは、▲45.5%（前期比 23.3 ポイント減）と大幅な低下傾向にあるが、3ヶ月先は、▲18.2%と大幅な回復の見通しである。
- ・従業員数D Iは、+18.2%（前期比 29.3 ポイント増）で大幅な人手不足となっているが3ヶ月先は、+18.2%と横ばいの見通しである。



□設備投資の動向 OA 機器等 1 件、機械設備 1 件、車両運搬具 1 件となっている。

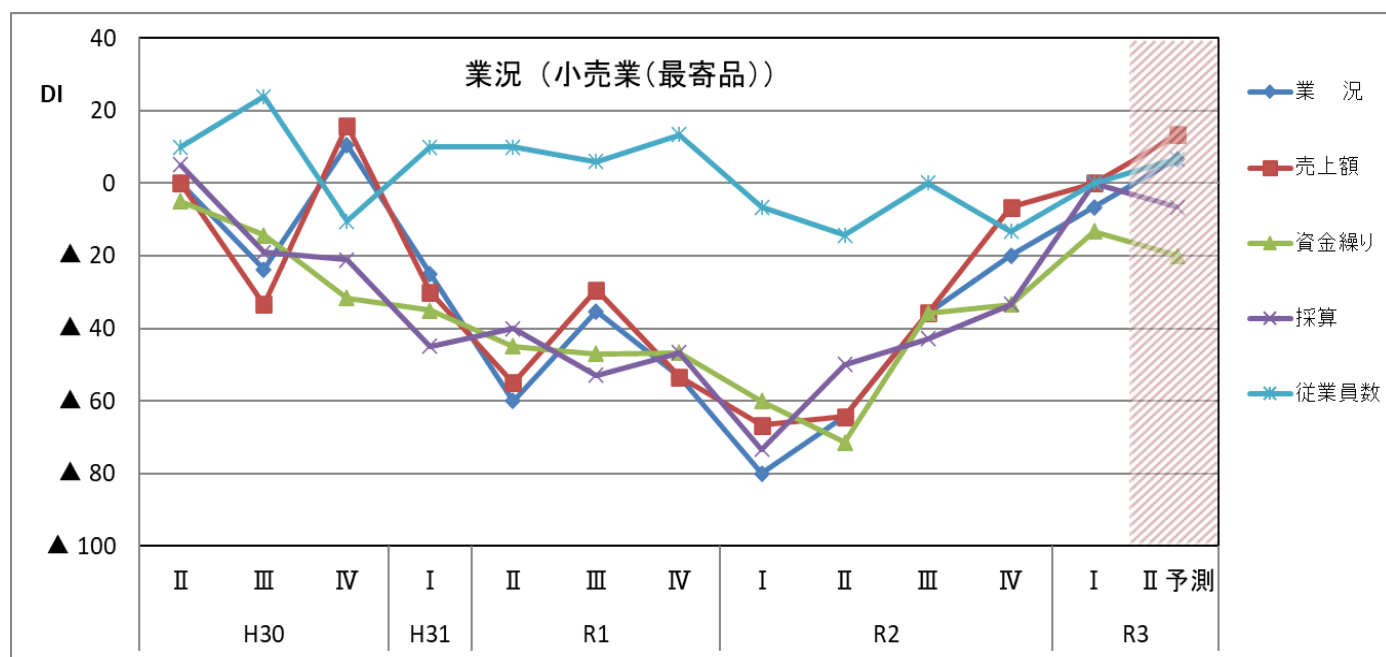
□経営上の問題点 (延べ問題点件数)



3. 小売業（最寄品）

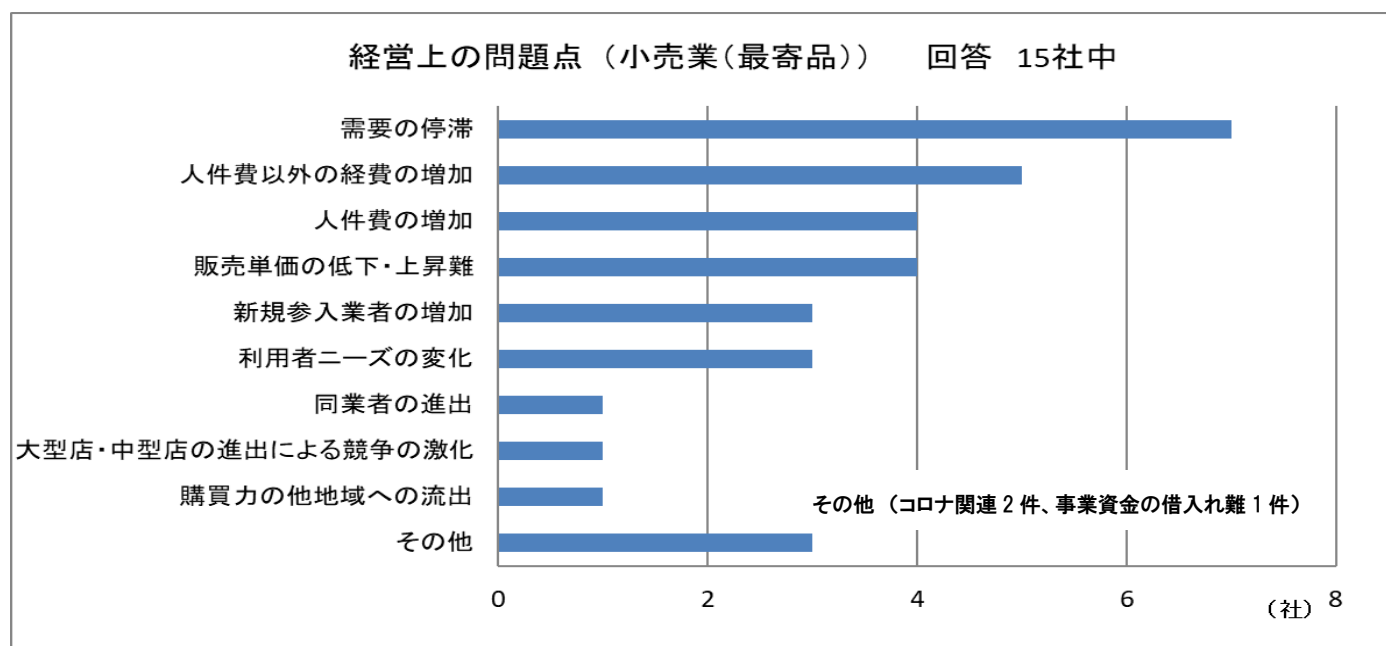
□業況D I

- ・景況判断D Iは、▲6.7%（前期比 13.3 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先も、+6.7%と更に回復の見通しである。
- ・売上D Iは、±0.0%（前期比 6.7 ポイント増）と回復傾向にあるが、3ヶ月先は、+13.3%と更に回復の見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲13.3%（前期比 20.0 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲20.0%と低下の見通しである。
- ・採算D Iは、±0.0%（前期比 33.3 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲6.7%とやや低下の見通しである。
- ・従業員数D Iは、±0.0%（前期比 13.3 ポイント増）と人手過剰が解消されているが、3ヶ月先は、+6.7%とやや人手不足の見通しである。



□設備投資の動向 機械設備 1 件となっている。

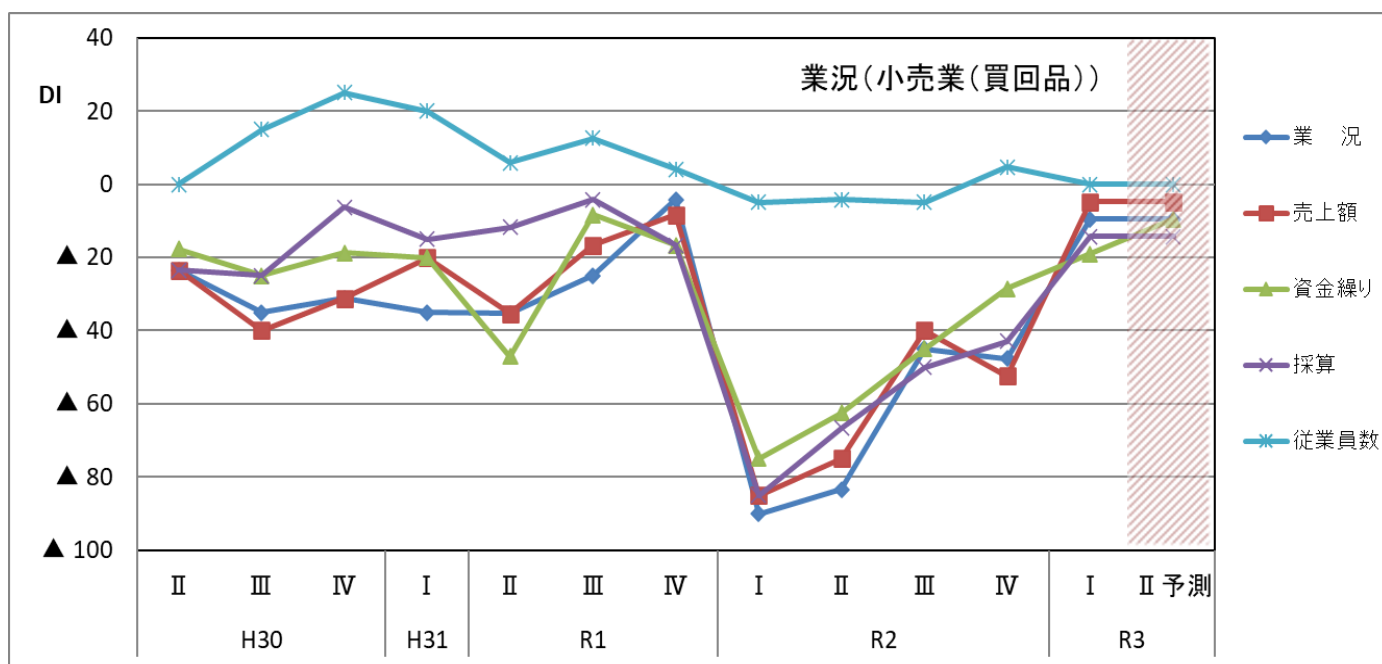
□経営上の問題点（延べ問題点件数）



4、小売業（買回品）

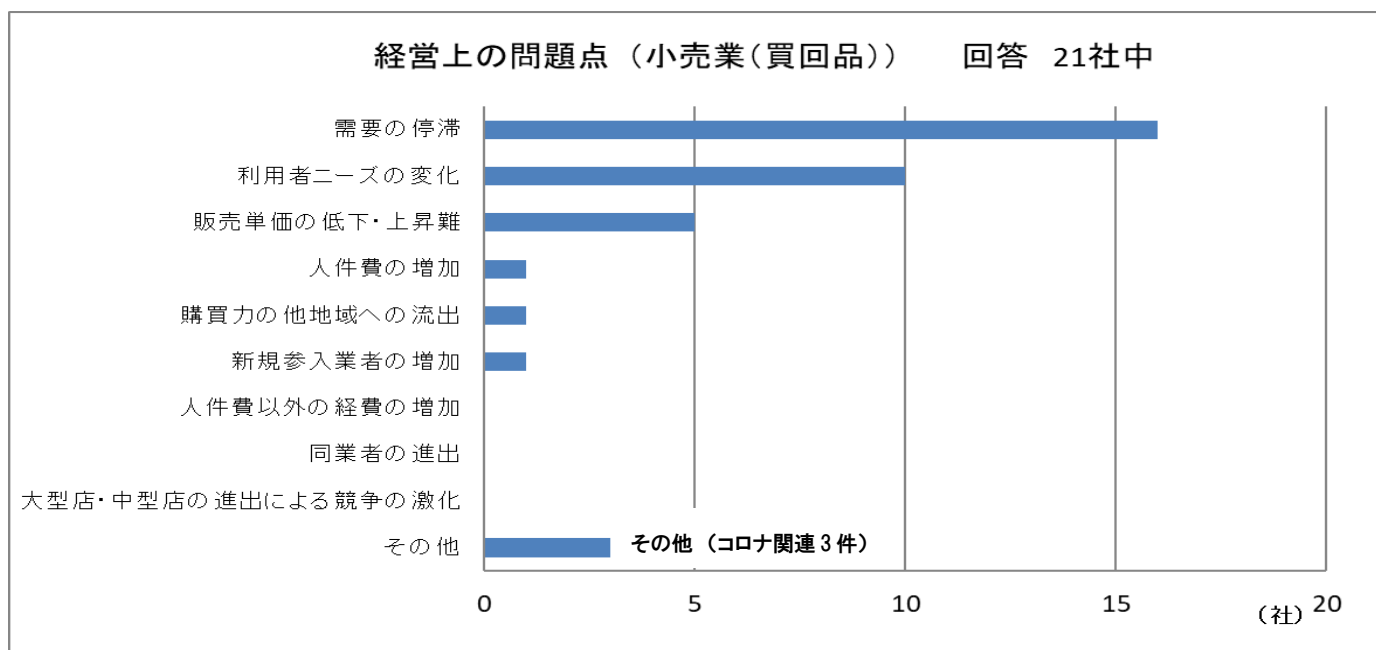
□業況D I

- ・業況判断D Iは、▲9.5%（前期比 38.1 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲9.5%と横ばいの見通しである。
- ・売上D Iは、▲4.8%（前期比 47.6 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲4.8%と横ばいの見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲19.0%（前期比 9.6 ポイント増）と回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲9.5%と更に回復の見通しである。
- ・採算D Iは、▲14.3%（前期比 28.6 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先も、▲14.3%と横ばいの見通しである。
- ・従業員数D Iは、±0.0%（前期比 4.8 ポイント減）で人手不足は解消されているが、3ヶ月先も、±0.0%と横ばいの見通しである。



□設備投資の動向 建物等 2 件となっている。

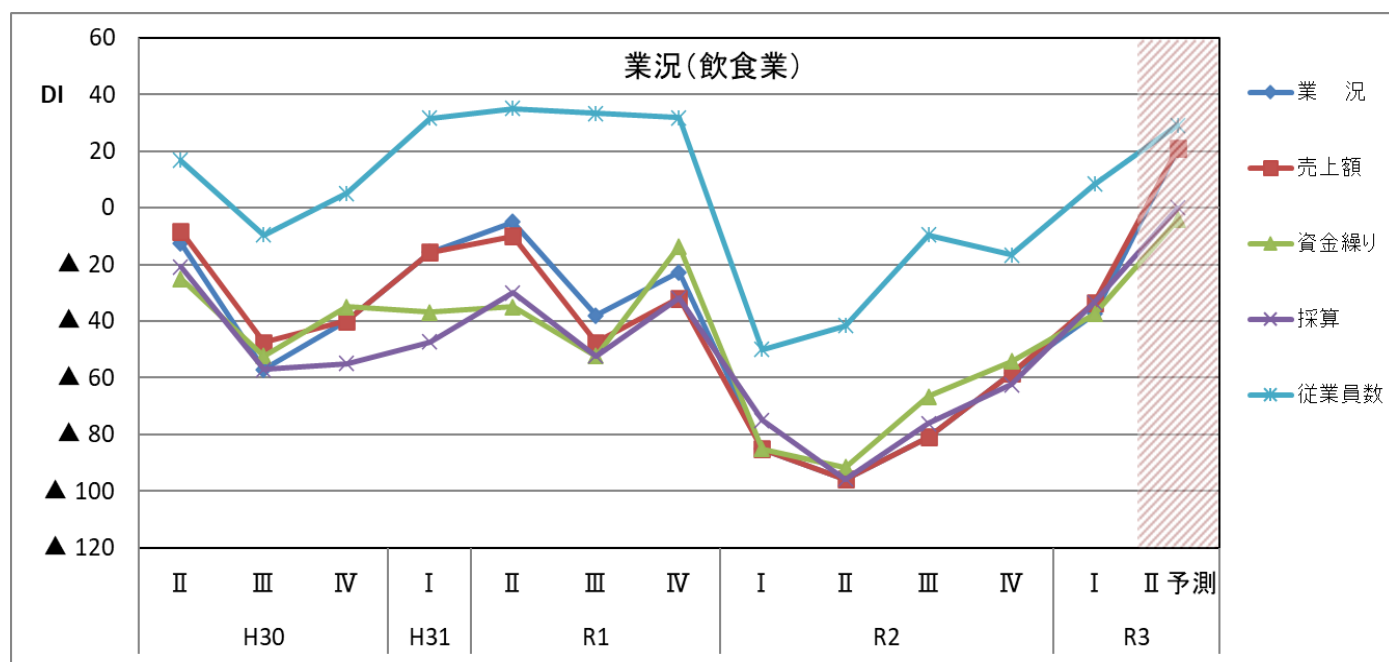
□経営上の問題点（延べ問題点件数）



5、飲食業

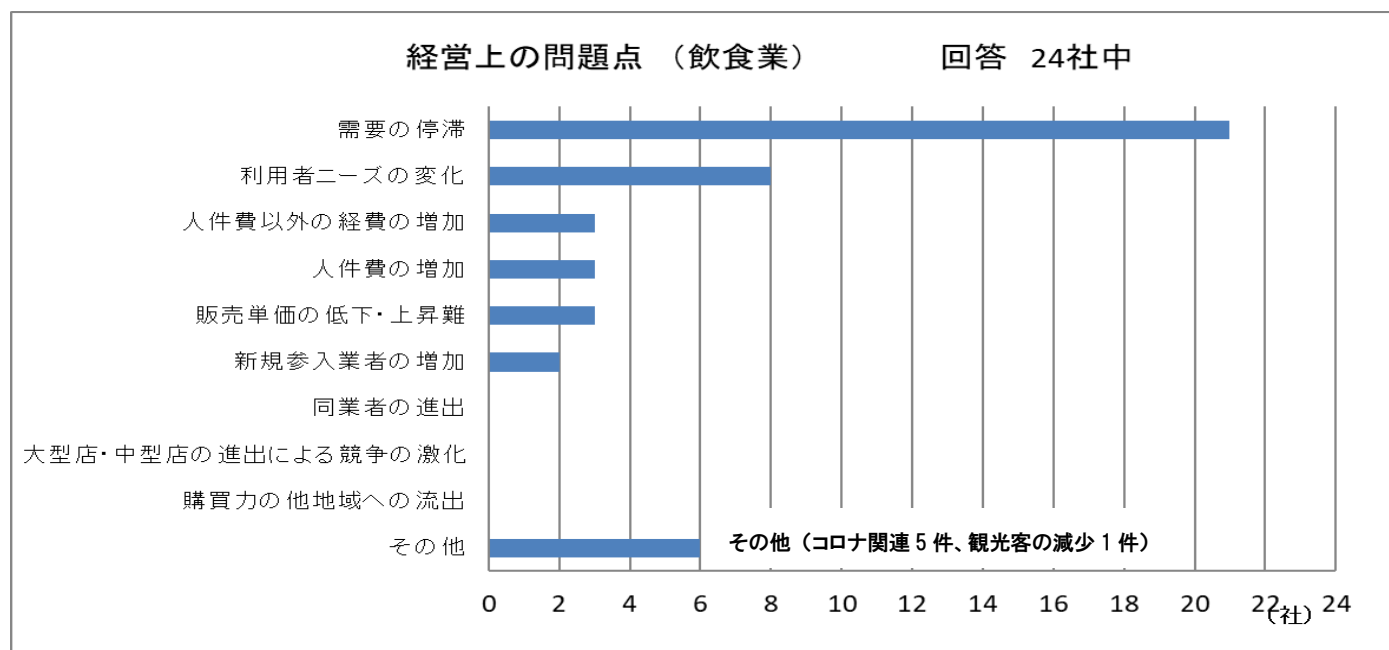
□業況D I

- ・業況判断D Iは、▲37.5%（前期比 20.8 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月前も、+20.8%と更に回復の見通しである。
- ・売上D Iは、▲33.3%（前期比 25.0 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月前も、+20.8%と更に回復の見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲37.5%（前期比 16.7 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月前も、▲4.2%と更に回復の見通しである。
- ・採算D Iも、▲33.3%（前期比 29.2 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月前も、±0.0%と更に回復の見通しである。
- ・従業員数D Iは、+8.3%（前期比 25.0 ポイント増）と人手不足となりつつあるが、3ヶ月前も、+29.2%と更に人手不足が拡大する見通しである



□設備投資の動向 機械設備 2 件、車両運搬具 1 件、その他 1 件となっている。

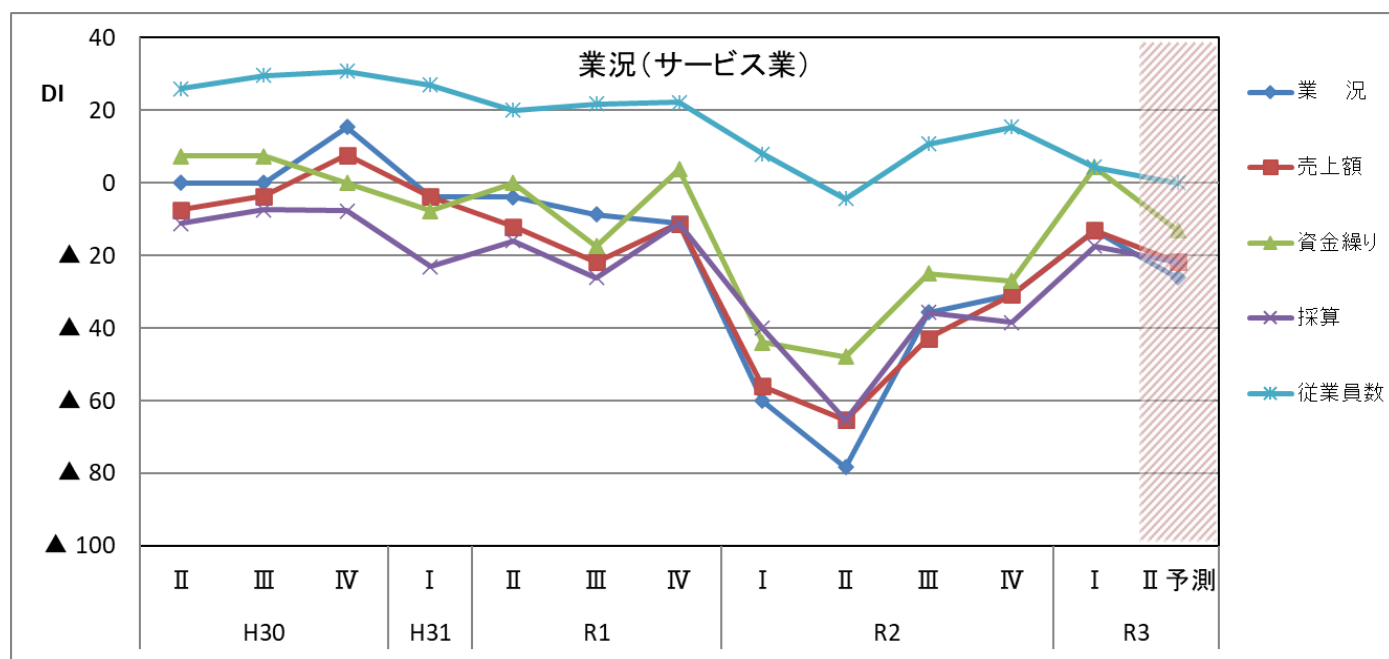
□経営上の問題点（延べ問題点件数）



6、サービス業

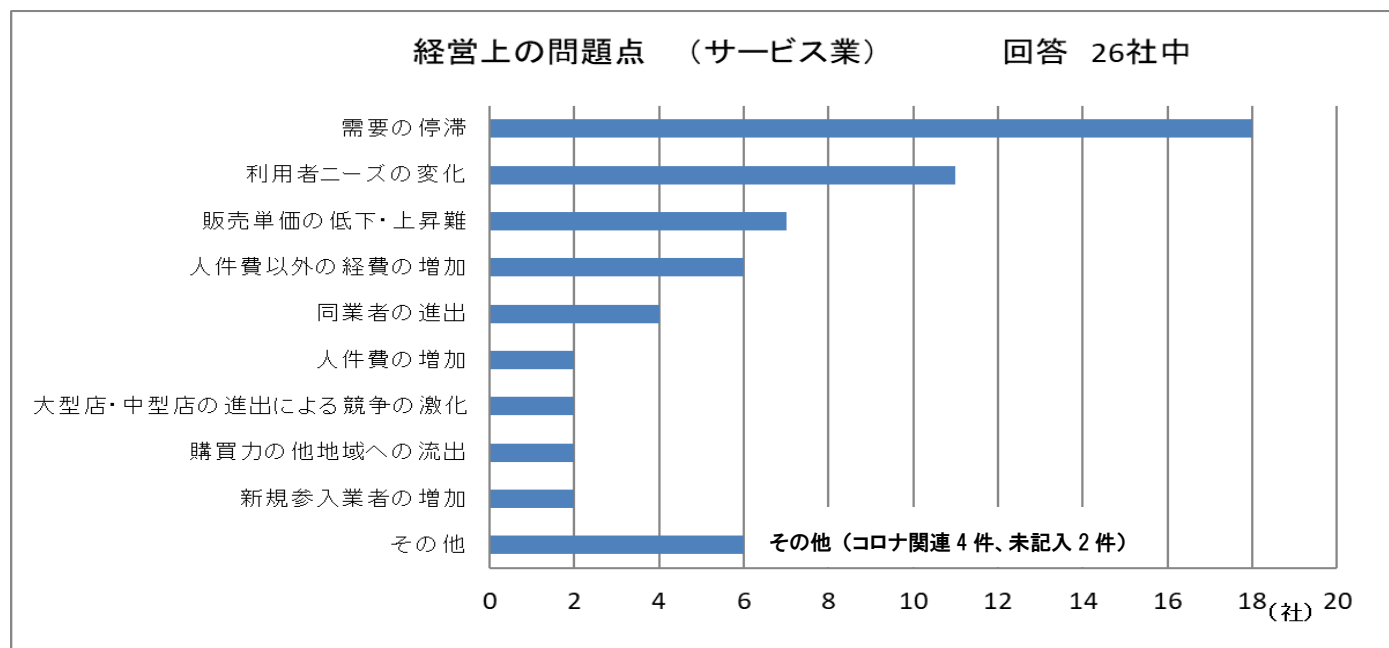
□業況D I

- ・業況判断D Iは、▲13.0%（前期比 17.8 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲26.1%と大幅な低下の見通しである。
- ・売上D Iは、▲13.0%（前期比 17.8 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲21.7%と低下の見通しである。
- ・資金繰りD Iは、+4.3%（前期比 31.2 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲13.0%と大幅な低下の見通しである。
- ・採算D Iは、▲17.4%（前期比 21.1 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲21.7%と低下の見通しである。
- ・従業員数D Iは、+4.3%（前期比 11.1 ポイント減）と人手不足が解消されつつあるが、3ヶ月先も、±0.0%と更に人手不足が解消される見通しである。

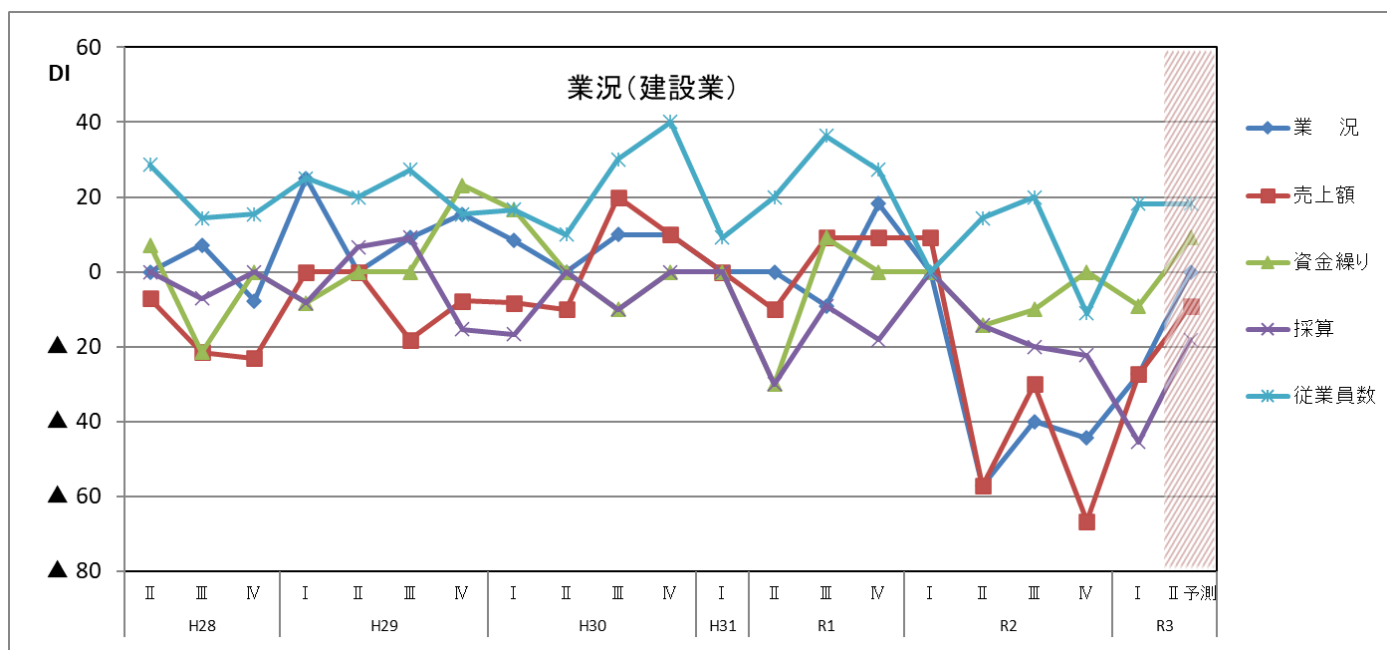
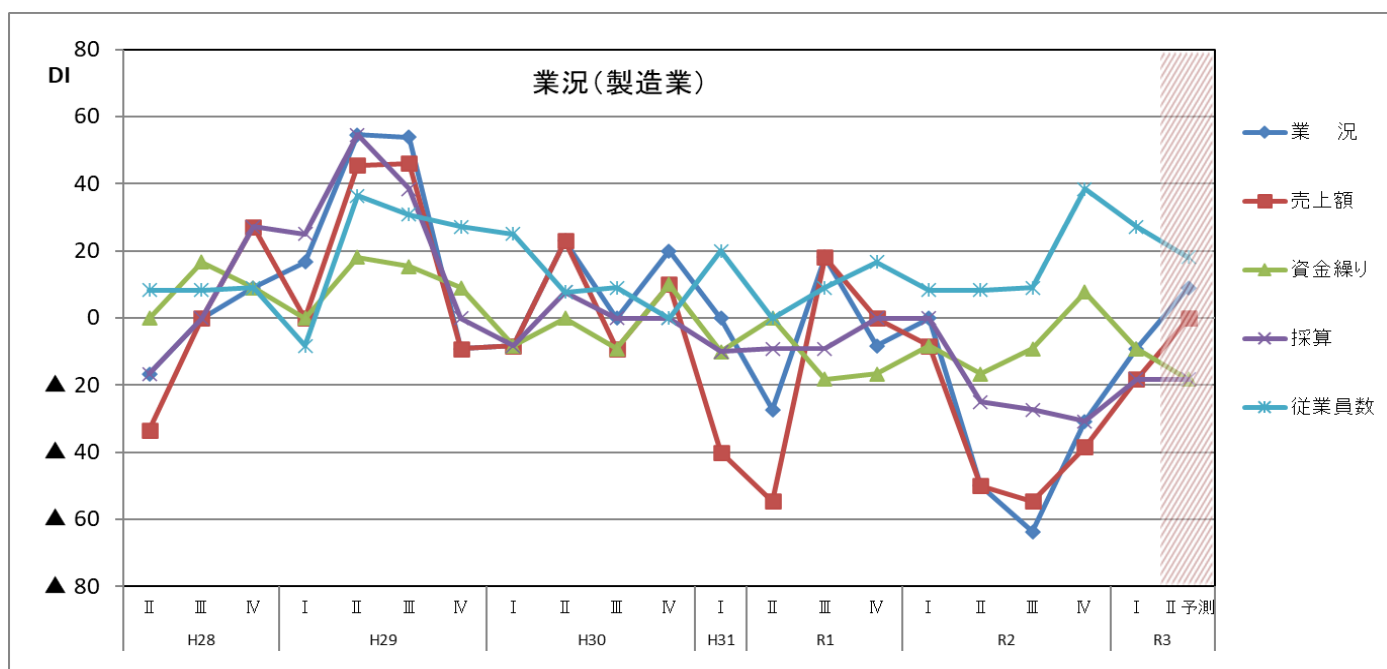
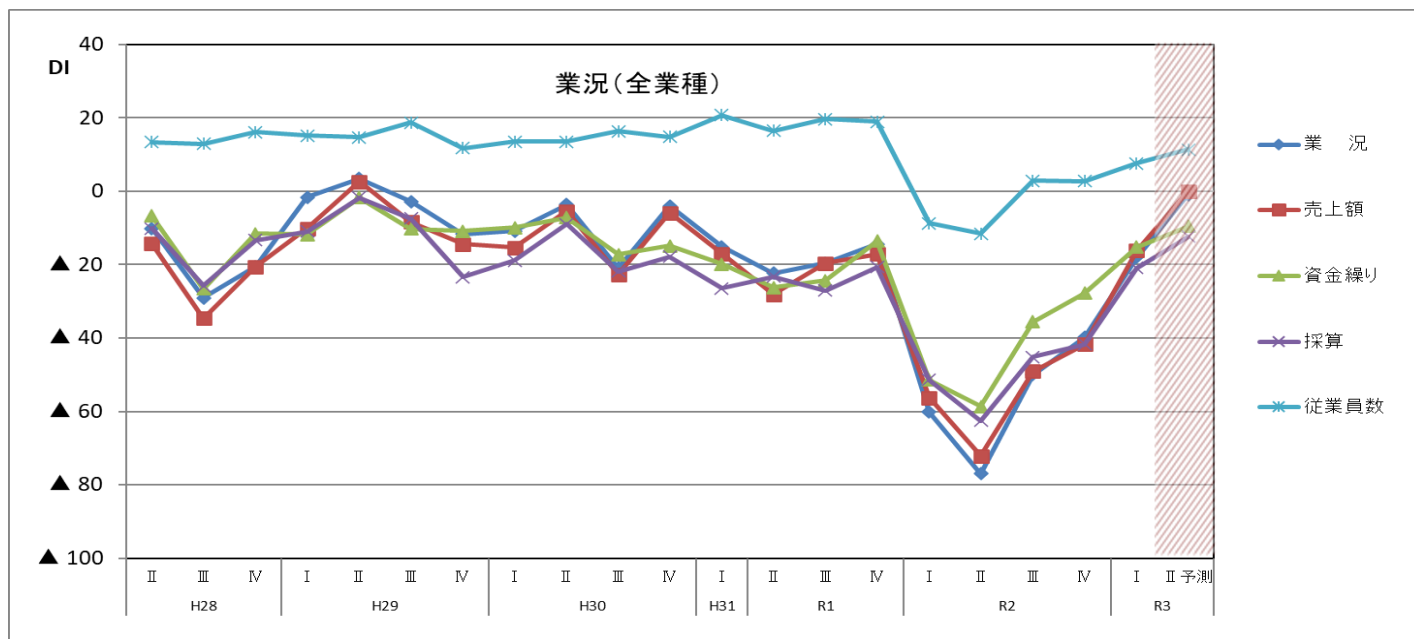


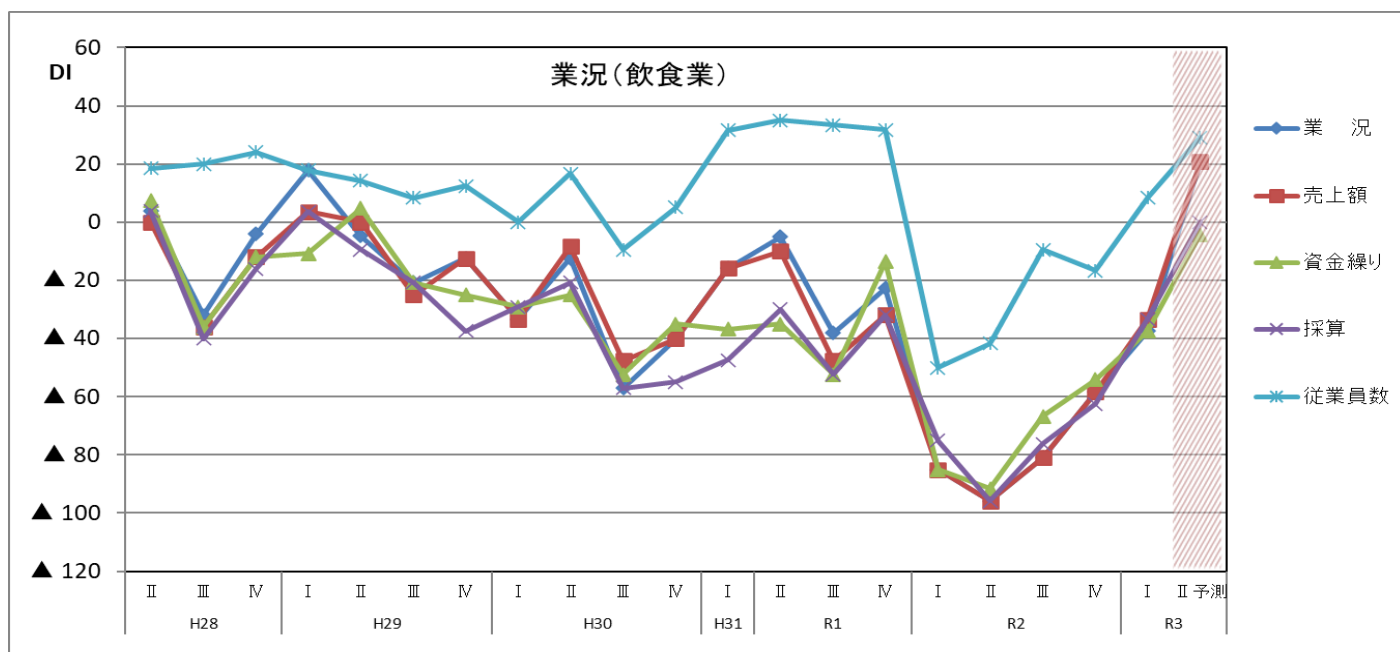
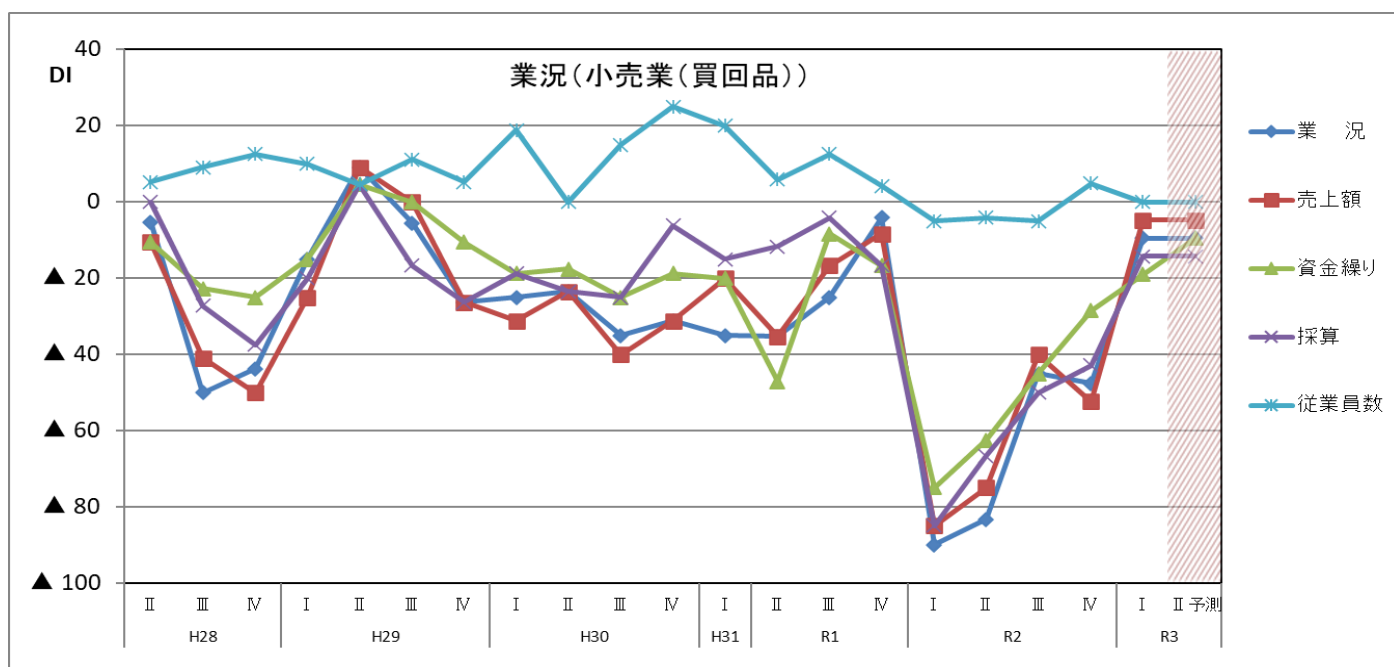
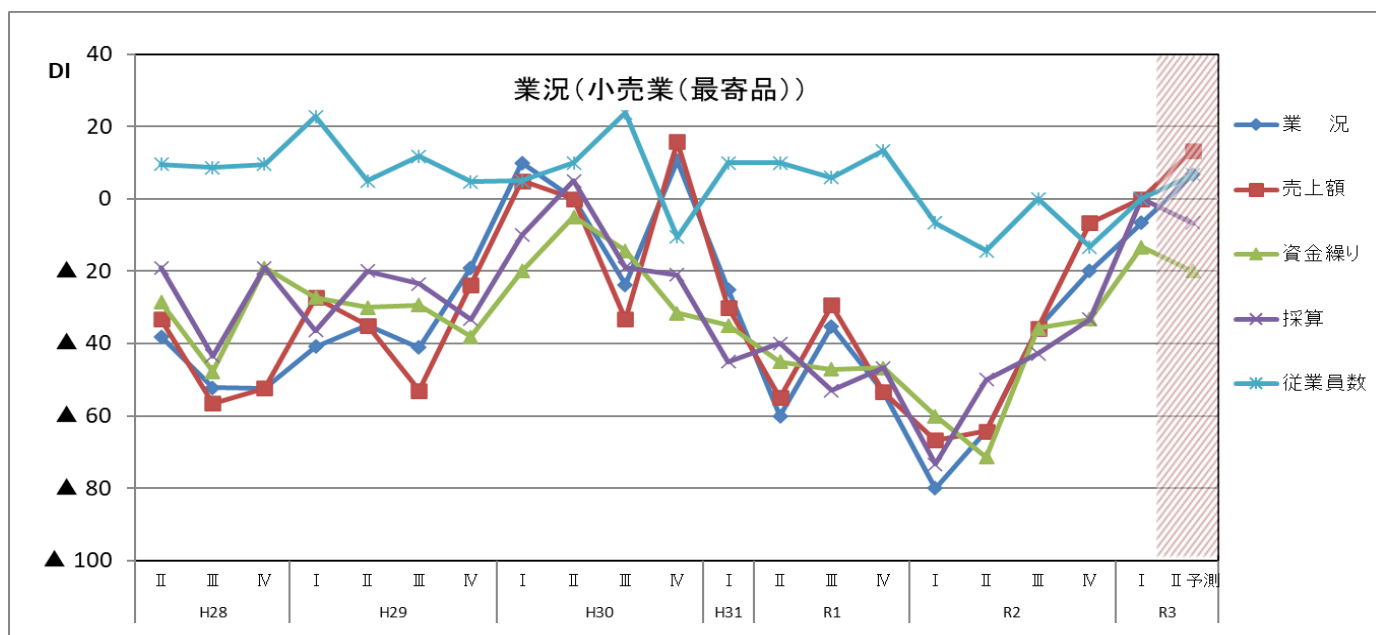
□設備投資の動向 OA 機器等 1 件、車両運搬具 1 件、建物等 1 件となっている。

□経営上の問題点 (延べ問題点件数)



《資料》5年分の推移





小売業 (最寄品)	H28			H29				H30				H31				R1				R2				R3	
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ予測				
OA機器	3	1	2	1	3	0	2	2	3	1	0	2	2	0	0	0	1	0	1	0	0				
機械設備	1	4	0	2	0	2	2	0	3	2	1	1	0	1	3	0	1	0	2	1	2				
車輛運搬具	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0				
建物	2	2	1	2	1	0	2	1	1	0	2	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0				
その他	0	1	0	0	0	1	2	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0				

小売業 (買回品)	H28			H29				H30				H31				R1				R2				R3	
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ予測				
OA機器	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	1	1	2	0	0	0				
機械設備	0	0	0	2	0	0	0	1	0	4	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0				
車輛運搬具	2	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1				
建物	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	2	1				
その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0				

飲食業	H28			H29				H30				H31				R1				R2				R3	
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ予測				
OA機器	1	0	0	1	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1				
機械設備	0	1	3	2	5	3	2	2	1	2	4	0	0	0	2	1	1	3	4	2	0				
車輛運搬具	0	0	0	0	0	2	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0				
建物	1	1	2	1	0	1	0	1	1	0	1	1	1	1	2	0	1	0	1	0	1				
その他	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	0	1	0				

[illegible]